

常染色体劣性（潜性）遺伝

ノーマル（クリア）

野生型のみ検出される（変異が検出されない）場合です。
その遺伝子変異が原因となる疾患の発症リスクは低いです。またその遺伝子変異による疾患は後代に遺伝しません。

キャリア

野生型と変異型の両方が検出される場合です。
その遺伝子変異が原因となる疾患の発症リスクは低いです。
ただし、他のキャリア、もしくはアフェクテッドの個体と掛け合わせると、対象となる疾患の発症リスクが高い子が生まれる可能性があるため、配慮が必要です。

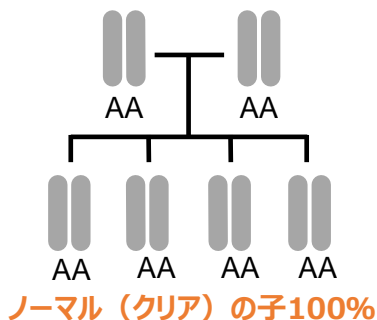
アフェクテッド

変異型のみ検出される場合です。
その遺伝子変異が原因となる疾患の発症リスクは高いです。
アフェクテッドは繁殖から外します。

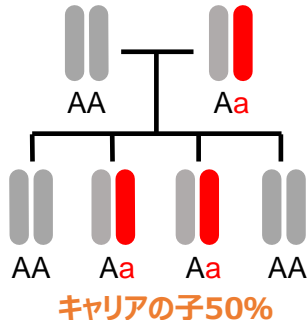
遺伝子は父親と母親からそれぞれ受け継いだものがペアになっています。
右図のように片側に変異を持つ場合はヘテロ接合となり、劣性遺伝の場合はキャリアと表記します。



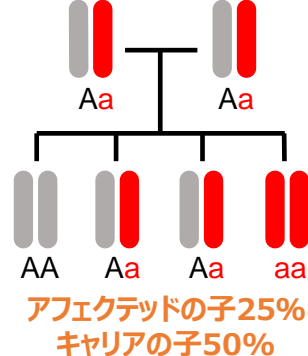
両親ノーマル（クリア）



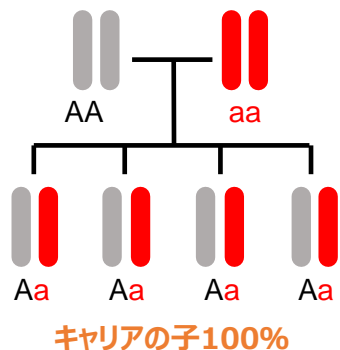
片親キャリア



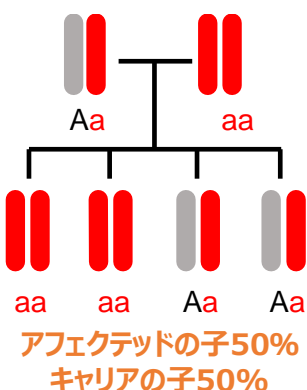
両親キャリア



片親アフェクテッド



キャリア×アフェクテッド



両親アフェクテッド

